

てら かつ
寺井中心街活性化

てらかつ協議会の歩み



平成31年3月

< 目次 >

1. 動きだした寺井地区のまちづくり	・・・	p 1
1-1. 寺井地区の概要		
1-2. 寺井地区の課題		
1-3. 課題解消に向けたまちづくり		
2. まちづくりの手法「都市再生整備計画事業」	・・・	p 2
2-1. 都市再生整備計画事業の概要		
2-2. 整備計画の策定		
2-3. 整備計画に基づいて整備がすすむ寺井まちなか		
2-4. 整備計画の概要（当初計画）		
3. 住民主体の永続的なまちづくり	・・・	p 7
～寺井中心街活性化「てらかつ協議会」の発足～		
3-1. てらかつ協議会の概要		
3-2. 「チームてらかつ」について		
3-2-1. にぎわい発掘チーム		
3-2-2. ふれあい安心チーム		
3-2-3. まちなみ演出チーム		
3-2-4. おしらせ発信チーム		
3-3. てらかつ委員会について		
4. 「てらかつ協議会」の主な活動	・・・	p 1 2
活動コンセプト：		
無理をしないで、自分の好きなことを、ちょっとずつ試みしてみる		
4-1. 「わがまちらしさ」を検討		
4-2. 「チームてらかつ」での主な活動		
5. 活動年表	・・・	p 2 6
6. 最後に	・・・	p 2 9
【資料編】		
資料1. てらかつニュース	・・・	p 3 3
資料2. 公民館報	・・・	p 6 7

1. 動きだした寺井地区のまちづくり

1-1. 寺井地区の概要

寺井地区は、藩政時代に加賀藩の年貢米を収納する蔵が置かれ、人の往来が盛んになることで、旧北国街道の宿場町として栄えました。旅人が行き交うことで様々な文化に触れる機会が多く、自分とは異なるモノを積極的に取り入れ、時代時代でまちの様子を変えてきました。

そのため、九谷焼産地の1つとしても花開き、明治時代には「ジャパネクタニ」を世界へと羽ばたかせ、華やかな中心街を形成したこともありましたが、時代の流れによりはかなく消えてしまったこともまた事実です。

1-2. 寺井地区の課題

1) 商業機能の低下

暮らしがまちなかから郊外へ拡大するといった、近年の車社会の発展に伴う社会情勢の変化により、まちなかの商業機能の低下が著しく、空き家や空き店舗などが目立つ状況となっています。

2) 安全な歩行者環境の確保

徒歩圏内に、保育園、児童館、小・中学校、図書館などが立地し、教育・福祉施設は比較的充実していますが、まちなかを通る道路は狭小で十分な歩道が確保されていないなど、通学・子育て環境の安全性に問題を抱えています。

1-3. 課題解消に向けたまちづくり

このことから、道路整備による歩行環境の創出や隣接地区とのアクセス向上、新たな保育園を核とした子育て環境の充実といった、ハード整備による都市機能の強化は能美市が担い、まちに賑わいをもたらすイベント開催など様々なソフト活動は地域住民が担うことで、行政と住民の両輪で地域の活力向上を図ることにより、「地域住民の交流から育まれる寺井まちなかの活性化」を目指したまちづくりを推進することになりました。



◀ 「ジャパネクタニ」

その派手さが外国人の好みに合い、明治初期に横浜や神戸から海外へ渡る



歩道が無く、かつ混雑するまちなか。商店数は減少し、夜は街灯のみが明るい ▲

2. まちづくりの手法「都市再生整備計画事業」

2-1. 都市再生整備計画事業の概要

実際にまちづくりを推進するにあたり、国土交通省の補助メニューである「都市再生整備計画事業」を活用しました。

都市再生整備計画事業は、地域の歴史・文化・自然環境などの特性を生かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的として創設されました。

市町村の提案に基づく地域の創意工夫を活かしたハード事業や、まちに魅力と潤いをもたらすソフト事業を支援する「提案事業」が設けられています。

提案事業としてソフト事業が含まれているのは、単にまちの物的な整備だけにとどまらず、まちづくりにおける住民意見の反映や、整備した施設を利用した住民活動の誘発など、ソフト部分までを含めて総合的にまちづくりを実施することが、国からの補助金を受け取ることが出来る要素の1つとなっているからです。

なお本事業は、辰口地区では主に里山の湯や足湯の整備（事業期間：平成16～20年度）、根上地区では主に能美根上駅の整備（事業期間：平成21～25年度）にも活用されています。

都市再生整備計画事業で実現できる個性あふれるまちづくり

活力と魅力にあふれ、暮らす人にも訪れる人にも
快適なまちづくりを応援します。

都市再生整備計画事業では、市町村が目標や指標について自由に設定し、
目標達成のために各種事業を実施することができます。

〈まちづくりのイメージ〉



【国土交通省のパンフレットを引用】

2-2. 整備計画の策定

能美市としては、都市再生整備計画事業を活用して能美東西連絡道路（寺井まちなか区間）と寺井保育園、ふれあいプラザの整備を実施することとしました。

しかしそれ以外の整備項目については、単にまちの物的な整備だけにとどまらず、まちづくりにおける住民意見の反映や、整備した施設を利用した住民活動の誘発など、ソフト部分までを含めて総合的にまちづくりを実施するため、寺井地区の地域住民「が」必要とするものを整備計画に盛り込むこととしました。

そのために、平成25年に「寺井まちなかの未来を考えるワークショップ」を開催（全4回開催）し、提案された意見を整備計画に反映しました。

背景・目的

能美横断道路、寺井保育園の整備を契機とし、住民主体の永続的なまちづくりを推進するため、これまで地域のまちづくりに携わってきた住民の方々を中心とするワークショップにより、寺井まちなかのまちづくりの将来像について検討した。

1. ワークショップの概要

開催日時： (平成25年)	第1回 … 3月10日(日)	第2回 … 6月29日(土)
	第3回 … 7月28日(日)	第4回 … 8月25日(日)
参加者：	町内会、商工会、商店連盟、公民館、九谷橋、JAIST 横断道路沿線、まちづくり団体、子育てなどの各関係者	延べ101名 (平均25人)
手法：	ワークショップ形式による班別討論	
コーディネーター：	濱 博一氏 株式会社アスリック代表取締役 (石川県地域づくり協会専任コーディネータ)	

2. 各ワークショップの概要

第1回	・「まちなかの魅力と悩み」、「まちなかでやってみたいこと」についての意見交換
第2回	・参加者が考える「理想の寺井まちなかのイメージ」の意見出し ・「理想の寺井まちなかを実現するために必要なまちづくり」を提案
第3回	・提案したまちづくりの「事業の優先順位」を整理 ・「事業の必要性(こういった利用方法ができるか。)」を検討
第4回	・まちづくりの「キャッチフレーズ」の組み立て ・事業に対する「行政・企業・住民の役割分担」を整理



討論風景



グループ討論



グループ発表

3. ワークショップの検討結果

〈キャッチフレーズ案〉

“てらかづ”で見つけよう！！
～ 九谷焼と話せる充実のまち寺井 ～

〈まちづくりのビジョン(方向性)〉

- | | |
|-------|-----------------------|
| ビジョン1 | 子育て環境の充実と安心して歩ける環境づくり |
| ビジョン2 | 九谷焼を活用した魅力向上と情報発信 |
| ビジョン3 | まちなかの賑わい創出と交流活性化 |

〈9 (ナイン) ～まちづくりを実現する9つの提案～ 〉

- | | | | |
|---|---|---|--|
| ① | 子育て環境づくり
▶ 保育園・ふれあいプラザ、周辺環境 | ② | 安心して歩ける空間づくり
▶ 能美横断道路・歩行空間の確保 |
| ③ | 世代を超えた「やすらぎの場」
▶ 「かたかご広場」のリフレッシュ | ④ | 九谷焼で彩る「てらい」
▶ イベント開催、ギャラリー、チャレンジショップと連携 |
| ⑤ | 「まちの宝」の発掘
▶ 「梅月庵」の復活(ギャラリー・カフェ) | ⑥ | 商いの再生
▶ 空き店舗の利活用(ワーク・イン・レジデンス) |
| ⑦ | 核となる「にぎわい創出」
▶ 図書館前の空間確保、図書館の利活用 | ⑧ | みんなが集う「まちの駅」
▶ 多目的ホールを中心とした集い、情報発信 |
| ⑨ | 健康・ふれあい回遊ルートの設定
▶ 「ぐるっとカフェ」開催、「ルートマップ」 | | |

～ 9 (ナイン) ⇒ 九谷 ～

4. 今後の予定

- 10月を目標に住民主体の「(仮称)まちづくり協議会」の設立を目指す。
- ワークショップでの提案を基本とし、都市再生整備計画を策定する。
- 平成26年度からまちづくり事業をスタートする。

2-3. 整備計画に基づいて整備が進む寺井まちなか

能美東西連絡道路（寺井まちなか区間）と寺井保育園、ふれあいプラザの整備以外にも、「寺井まちなかの未来を考えるワークショップ」での提案により、様々な整備が実施されることになりました。



2-4. 整備計画の概要（当初計画）

- 1) 計画期間：平成26～30年度（5カ年）
- 2) 面積：58.4ha
- 3) 総事業費：2,825百万円（うち、国費：1,130百万円（40%））
- 4) 目標：地域住民の交流から育まれる寺井まちなかの活性化
- 5) 指標：①空店舗・空家の活用件数
 1件（H26） → 6件（H30）
 ②商店街の自転車歩行者数
 200人/12h（H26） → 310人/12h（H30）
 ③子育て環境に対する満足度
 57%（H26） → 68%（H31）

6) 事業内容：

①基幹事業（2,111.5百万円）

能美東西連絡道路整備（幅員12m、延長450m）、無電柱化整備、道路修景施設整備、市道整備（歩行空間整備・道路側溝有蓋化など）、案内サイン整備、ふれあいプラザ整備（地域交流センター）、かたかご広場整備、イベント広場整備、ポケットパーク整備

②提案事業（713.5百万円）

寺井保育園整備、ふれあいプラザ整備（子育て支援センター等）、空家・空店舗活用事業、ミニ茶碗まつり開催、事業効果分析調査、地元協議会運営



3. 住民主体の永続的なまちづくり ～寺井中心街活性化「てらかつ協議会」の発足～

3-1. てらかつ協議会の概要

ハード整備による都市機能の強化は能美市が担いますが、まちに賑わいをもたらすイベント開催など様々なソフト活動は地域住民が永続的に担っていくため、寺井中心街活性化「てらかつ」協議会はその母体組織として平成26年2月27日に発足しました。

協議会は、「てらかつ委員会」と「チームてらかつ」の2つの組織で構成されており、「てらかつ委員会」は協議会の意思決定を、「チームてらかつ」はまちづくりの実践に取り組んでいます。

「チームてらかつ」は当初、「にぎわい発掘」「ふれあい安心」「まちなみ演出」「おしらせ発信」の4チームで活動をスタートさせましたが、まちなみ演出チームが当初の目標をおおよそ達成したこともあり統合され、平成29年度以降、「にぎわい発掘」「ふれあい安心」「おしらせ発信」の3チームで活動を行っています。

また、「チームてらかつ」には当初、メンバー募集に対して寺井町の内外を問わず61名が参加登録し活動をスタートさせましたが、平成30年現在、登録メンバーは25名であり、実際に活動しているメンバーは10名程度となっているのが現実です。



平成30年度現在
「チームてらかつ」
メンバー合計
☆ 25名 ☆

常時募集中！

・「寺井まちなかの未来を考えるワークショップ（WS）」を計4回実施

開催名	開催日	主な内容
第1回 WS	平成 25 年3月 10日	・「寺井まちなかの魅力と悩み」、「寺井まちなかでやってみたいこと」についての意見交換
第2回 WS	平成 25 年6月 29日	・「理想の寺井まちなかのイメージ」の意見出し ・「理想の寺井まちなかを実現するために必要なまちづくり」の提案
第3回 WS	平成 25 年7月 28日	・前回提案したまちづくりの「事業の優先順位」の整理 ・「事業の必要性（こういった利用方法ができるか）」の検討
第4回 WS	平成 25 年8月 25日	・まちづくりの「キャッチフレーズ」の組み立て ・事業に対する「行政・企業・住民の役割分担」の整理

まちづくりの「キャッチフレーズ」、「ビジョン」、「9つの提案（ナイン）」を提案

・「(仮称) てらかつ協議会」の設立準備会を開催

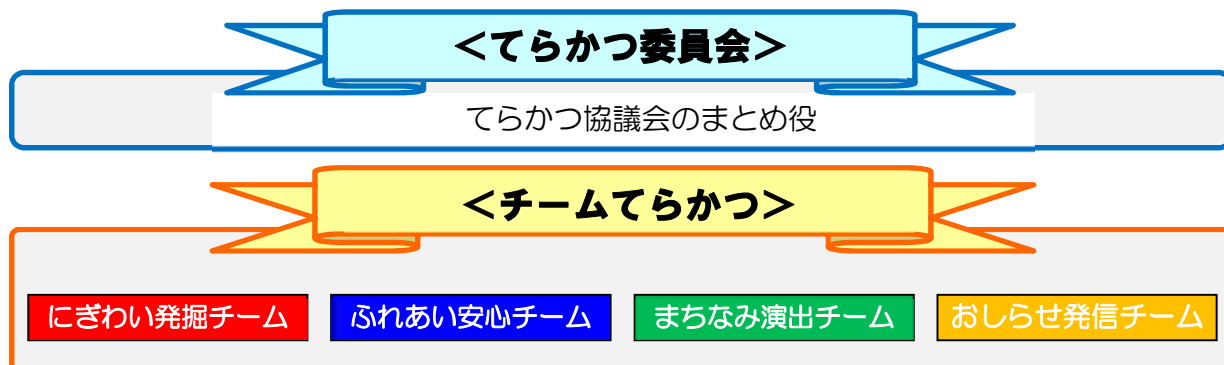
開催名	開催日	主な議題
設立準備会	平成 25 年 12 月 2 日	・組織形態 ・役員を選出 ・まちづくりメンバーの募集方法 ・まちづくり計画

・協議会活動メンバーの募集（平成 25 年 12 月～）

・てらかつ協議会が発足式（発足式を開催）

開催名	開催日	主な議題
発足式	平成 26 年 2 月 27 日	・委員紹介 ・会長等役員を選出、規約について ・協議会発足までの経緯と活動イメージ
チームミーティング	〃	・各チームに分かれて、これからの活動について意見交換

【発足時の組織体制】



3-2. 「チームてらかつ」について

協議会の発足以降、最大4つのチームがそれぞれ独自の活動に取り組んできました。各チームの特色を簡単にご紹介します。

3-2-1. にぎわい発掘チーム（発足から現在まで活動／チームカラー：赤）

にぎわい発掘チームは、「空き家を使わせてもらって楽しむ」ための各種イベント開催や、「九谷焼と話せる充実のまち寺井」の実現のために九谷焼作品の展示や陶芸教室といった、多種多様な活動に取り組んできました。



3-2-2. ふれあい安心チーム（発足から現在まで活動／チームカラー：青）

ふれあい安心チームは、「わがまち」を知るための散歩イベントやまちなか写生会の開催、「わがまち」を伝えるためのまちなか回遊マップの制作やまちなか案内看板設置検討といった活動に取り組んできました。



3-2-3. まちなみ演出チーム（発足から平成28年度まで活動／チームカラー：緑）

まちなみ演出チームは、能美東西連絡道路【寺井まちなか区間】の修景整備内容検討や、寺井図書館前広場の整備内容検討といった、能美市がハードを整備する上で必要な事項について検討を重ねました。



3-2-4. おしらせ発信チーム（発足から現在まで活動／チームカラー：黄→緑※）

※ まちなみ演出チームの統合により、チームカラーをそれまでの黄から緑に変え活動

おしらせ発信チームは、情報発信、視察対応、各種学校や団体との連携といった多岐に渡る事項について担ってきました。



3-3. 「てらかつ委員会」について

てらかつ委員会は、てらかつ協議会の意思決定機関（まとめ役）であり、チームてらかつの各チームからまちづくり活動の提案と実践を受け、その内容について調整や支援などを行うほか、てらかつ協議会の対外的な対応を担う組織です。

てらかつ委員会の構成員は、相談役、顧問、委員長、副委員長、委員、アドバイザー、事務局で構成されています。

てらかつ委員会の役割	
<ul style="list-style-type: none"> • てらかつ協議会の意思決定（まとめ役） • まちづくりの提案を受けての、調整や支援等 • 対外的な連携構築 	

てらかつ委員会の構成	
役 職	構成員
相談役	市長
顧問	市議、寺井町参与
委員長	寺井町町会長
副委員長	市議、寺井町公民館長
委員	寺井町壮年団団長、寺井町女性会会長、能美市商工会青年部、能美市商工会女性部、寺井高等学校校長、寺井中学校校長、寺井小学校校長
アドバイザー	石川地域づくり協会選任コーディネーター、能美市市民協働コーディネーター、北陸先端科学技術大学院大学准教授、石川県土木部都市計画課課長補佐
事務局	能美市産業建設部都市計画課

4. 「てらかつ協議会」の主な活動

発足からこれまで5年間、ソフト面・ハード面問わず様々なまちづくり活動に取り組んでいるてらかつ協議会ですが、その活動を行うにあたっては、明確なコンセプトを持っています。

活動コンセプトは、「無理をしないで、自分の好きなことを、ちょっとずつ試みしてみる」です。自らが楽しみ、自分事に取り組むことを意識したコンセプトに基づき、寺井地区に根差した、住民主体による住民のための息の長い活動を展開しています。

以下に、これまで協議会が活動を行った主な取り組みをご紹介します。

4-1. 「わがまちらしさ」を検討

平成26年2月の協議会発足以降、何度かミーティングで活動内容を検討している中、各チームから早々に「共通認識（ランドデザイン）を持ち、それに基づいて道路や公園などのハード事業やソフト事業を展開していくことが必要である」との発案が同時であり、ランドデザインを検討するミーティングが開催されました。

ランドデザイン検討ミーティングでは、「わがまちらしさ」とは何かを主に検討が行われ、ミーティングの結果、テーマカラーを「べんがら色」とすることが決まりました。

また、ハード事業の検討では能美市の工事タイミングにより、検討期限が決まっていることから、活動を着実に進め、尻すぼみしないよう、これまでの4つのチームの活動体制とは別に、検討テーマごとのまちづくり活動の実働部隊となる「グループ」が新設され、スピード感を持った活動が展開されていくこととなりました。

開催名	開催日	決定事項
第1回 ランドデザイン検討 MT	平成 26 年 7 月 11 日	・てらかつ協議会のテーマカラーを「べんがら色」とする。
第2回 ランドデザイン検討 MT	平成 26 年 8 月 5 日	※べんがら色のテーマカラーはあくまで基調色 ・これまでの4つのチームの活動体制とは別に、それぞれのまちづくり活動の実働部隊となる「グループ」を新設。



平成 26 年 7 月 11 日開催 第 1 回グランドデザイン検討ミーティングの様子



平成 26 年 8 月 5 日開催 第 2 回グランドデザイン検討ミーティングの様子

決定！「てらかつ」テーマカラー！！

～ ずばり、「べんがら」です ～

※ あくまで私個人の考えの範囲で、ご一考を賜います。すべて「べんがら」の色は、この写真から採りました。ご了承ください。

● 最終的に「べんがら」色

Q. 「べんがら」ってどんな色なの？
A. 「べんがら」は地味な色（茶色）で、生活の中でよく見られる色で、色味は茶色に近いですが、人様に馴染みやすい色で、落ち着いた雰囲気、落ち着いた印象が感じられます。
Q. 「べんがら」といっても、色々な色がありますよね？
A. 「べんがら」といって、色々な色がありますが、今回の場合は、落ち着いた色味で、落ち着いた印象が感じられる色を選びました。落ち着いた印象が感じられる色を選びました。

● 「べんがら」色の特徴

「べんがら」は、古くから使われてきた伝統的な色で、茶色に近い色味です。落ち着いた印象が感じられる色で、落ち着いた印象が感じられる色を選びました。

● 「べんがら」色のイメージ

「べんがら」は、古くから使われてきた伝統的な色で、茶色に近い色味です。落ち着いた印象が感じられる色で、落ち着いた印象が感じられる色を選びました。

● 参考写真

「べんがら」色に近い色味の写真です。落ち着いた印象が感じられる色で、落ち着いた印象が感じられる色を選びました。

てらかつ協議会

てらかつ協議会のテーマカラー「べんがら色」について説明するチラシ

4-2. 「チームてらかつ」での主な活動

てら散歩	開催日：平成 26 年度～ 開催場所：寺井町地内（まちなか回遊ルート）
------	--

- 即興ガイド付きで、寺井町地内を散歩。
- 名所旧跡の少ない寺井ですが、辻（交差点）に立ってみるとこれが意外と面白い。見慣れた街並みの、風情とたたずまいを再発見してもらおうと開催されました。



てら散歩「みそひと辻」写生会	開催日：平成 28 年度～ 開催場所：寺井町地内（まちなか回遊ルート）
----------------	--

- まちなか回遊ルートにある 31 箇所の辻を中心としてまちなかの何気ない風景を被写体に描いた写生会。
- てらかつメンバー、地域住民や寺井高等学校美術部といった人たちが参加しました。
- 描かれた作品は、後日、寺井図書館ギャラリーや梅月庵で展示されました。



- 作品をスライドショー形式で編集した記念 DVD/BD も制作（平成 28 年度）。



てら散歩マップ制作	制作日：平成 28 年度 検討場所：寺井区民センター
------------------	-------------------------------

- てら散歩ルート（まちなか回遊ルート）を紹介するマップを制作しました。
（平成 28 年度に 1 年間検討を重ねる）
- ルートの検討から、掲載内容（九谷焼と関わりのあるポイント、寺井の九谷焼の始まり等の読み物）の検討、デザインの検討までを実施しました。



回遊ルート案内看板設置検討	開催日：平成 29～30 年度 開催場所：寺井区民センター など
----------------------	-------------------------------------

- てら散歩ルートを案内する「地図看板」、「誘導看板」、「説明看板」の形や素材、色合い、掲載内容等をミーティングで検討しました。
- それぞれの看板のデザイン検討から、設置する場所（民地の場合）の交渉もチームメンバーで行っています。
- 看板は平成 31 年度中に設置予定です。



地図看板

誘導看板

説明看板

「梅月庵」小掃除イベント	開催日：平成 26 年度～ 開催場所：梅月庵
---------------------	---------------------------

- 空家となって 10 年を超える旧料亭「梅月庵」は、電気も水道も止まったままです。
- そうきん掛けや、障子の張り替え、庭の木々の剪定などを実施しました。



まちづくり応援ストラップの販売	発売日：平成 26 年度～
-----------------	---------------

- 梅月庵の PR を行うためのストラップの企画・制作を行いました。(1,000 円 / 1 個)
- 収益は、まちづくりを行うための活動費用に充てられます。



梅月庵あかりプロジェクト	開催日：平成 26 年度 開催場所：梅月庵
--------------	--------------------------

- 電気の無い状態を逆に個性と捉え、手づくりの「てらかつ灯籠」の明かりを灯し、夏の夜を光で彩りました。てらかつ暖簾も手づくりしています。
- 「てらかつ灯籠」の 200 個強のイラストの多くは、保育園児や小中学生、地域のお年寄りの方が描きました。光源は、100 円ショップで購入した LED です。
- 「九谷の風と素敵な仲間たち」によるオカリナ演奏会も同時開催しました。
- 「てらかつ灯籠」は以後、他団体のイベントにもたびたび出張しています。



千客万来 ～花と茶の宴～	開催日：平成 27 年度 開催場所：梅月庵
--------------	--------------------------

- てらかつ協議会の活動に賛同した倉元清花先生と倉元宗玲先生、そしてその他多くのボランティアの方によって開催された、生け花とお茶が楽しめるイベントです。
- イベントは 3 日間に渡り開催され、お茶は 2 日間だけの開催でしたが、約 500 名もの参加があり、3 日間全体では 1,000 名を超える来場者が訪れ、その名のとおりに千客万来となりました。



てらかつ古本市「梅月庵文庫」

開催日：平成27年度

開催場所：梅月庵

- 28名の方から約1万冊の本が無償提供され、1,354冊の本が購入者の手に渡っていききました。
- コーヒーや、ゆず・梅ジュースも販売され、本を通じた人の出会いと交流の場となりました。
- MROラジオの取材も行われています。



夜の梅月庵「怖いおはなし」

開催日：平成27年度

開催場所：梅月庵

- 夜の薄暗い雰囲気、怪談の朗読会を開催しました。
- 「能美民話の会」など多くの方のみなさんのご協力により、「むじな」など4話の怖い話が披露されました。



九谷焼創作教室・創作展

開催日：平成27年度～
開催場所：文吉窯、満天星工房

- 寺井地区が産地の一つでもある九谷焼をテーマにして、地域の工房を開放し、住民の方たち向けにその創作教室、創作展を開催しています。
- 平成27年度は「抹茶碗」、平成28年は「壺」、平成29年は「カップ&陶箱」と、各回で創作するものを変え、様々なものを創作しています。



住み開き

開催日：平成28年度～
開催場所：てらかつメンバー宅（私カフェ）

- 「住み開き」は、「無理をせず、自分のできる範囲で住まいの一部を一般に公開して、自身の趣味や活動の場を広げようとするコミュニティ活動」で、アサダワタルさんによって提唱されました。
- 例えば、てらかつの活動（ミーティングやちょっとしたミニイベント）で利用したり、地域の方が談笑するスペースとして開放したり、様々な使われ方をしています。



ふそろいな仲間達

発芽



冬支度

寺井図書館広場検討ミーティング	開催日：平成27年度～29年度 開催場所：寺井図書館
------------------------	-------------------------------

- 都市再生整備計画事業で整備される「寺井図書館広場」の整備内容を検討するミーティングを8回にわたって行いました。
- 使い勝手の良さ、整備後のメンテナンス等様々なことを、参加したてらかつメンバーで議論しあいました。
- 検討の結果、広場の中心には芝生を敷き、イベントスペースを確保した広場となりました。



能美東西連絡道路 修景検討ミーティング	開催日：平成26年度～ 開催場所：寺井区民センター、道路整備予定地 など
--------------------------------	---

- 都市再生整備計画事業によって整備される能美東西連絡道路〔寺井まちなか区間〕の修景を検討するミーティングを、これまで9回にわたって実施してきました。
- ミーティングの最初は、参加者想い想いの整備後の道路のイメージとして絵やキーワードを自由にアイデア出ししました。
- その後、歩道舗装の形や色、照明灯の形や明かりの色合い、歩道と車道の分離方法など、個々の整備内容について検討を行いました。
- 「寺井らしさ」を求めた結果、歩道のデザインは、「べんがら」（てらかつのテーマカラー）をベースとした色合いになります。また、歩道と車道の境界に設置予定のポラードには、地域の小学生が制作する九谷焼の陶板がはめ込まれる予定です。



思い描く道路イメージ



実際にサンプルを製作



整備後イメージ

てらかつフェスタ

開催日：平成29年11月

開催場所：梅月庵、てらかつメンバー宅（私カフェ）

- 秋の連休に、てらかつメンバー主催のお祭り「てらかつフェスタ」を開催し、会場で様々な催しが行われました。
- 九谷焼技術研修所2年生の4人展では、主に課題で制作した、4人それぞれの軌跡と個性光る作品が並びました。
- まちなかの見慣れた風景を高校生が描いた作品展や趣味の手づくり作品展示販売、オカリナコンサートが梅月庵で行われ、屋外ではテント市（九谷焼アウトレットやポン菓子など）が行われました。



4人展の様子



作品展やテント市の様子

満天星工房	開催日：平成 30 年度～ 開催場所：満天星工房（てらかつメンバー）
--------------	---------------------------------------

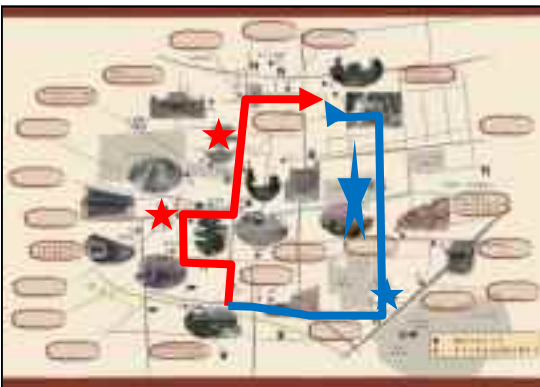
- 無理をせず、自分のできる範囲で住まいの一部を一般に公開して、自身の趣味や活動の場を広げようとするコミュニティ活動“住み開き”に刺激を受けて、てらかつメンバーが空家を取得し、九谷焼の工房や、お話をしたりイベントをしたりする空間に生まれ変わりました。
- オープニングセレモニーでは、オカリナの演奏会や、九谷焼創作展が開催されたほか、来場者の方にはお茶やお菓子がふるまわれ、楽しい談笑の場となりました。



満天星工房の様子

JAIST+てらかつ コラボ	開催日：平成 28 年 12 月 開催場所：寺井町内（三十一辻ルート等）
-----------------------	---

- 能美市内に所在する JAIST（北陸先端科学技術大学院大学）の研究の一環で、「シニアはどのような活動に対して満足度が高いのか」を研究テーマとして、てらかつメンバーの活動とコラボレーションを行いました。
- てらかつメンバー（シニア）が被験者となり、寺井町内を「宝探し」ゲームを行った時の脳波を計測し、JAIST が分析するものです。
- 計測当日は、あいにくの雨模様でしたが、参加者みな、謎解きパズルを行いながら設置されたチェックポイントへ、楽しみながら宝探しを行っていました。



内容：多世代で一緒に話し合って宝探しをする



宝探しの様子

小・中学校+てらかつ コラボ	開催日：平成26年度～ 開催場所：寺井小学校、梅月庵など
-----------------------	---------------------------------

- てらかつ協議会では、小・中学校とのコラボイベントも開催してきました。
- 寺井小学校では、学校の総合学習として「輝いて生きる」をテーマに、てらかつメンバーと小学生の児童みんなで、「まちづくり」とは何か、を考えました。
- また、「よりよい寺井の未来」を伝えよう ～説得力のある意見文を書こう～ をテーマに、小学6年生（全106名）のみんなが考えたまちづくりに対しての提案を受けたりもしました。
- さらに、小学校ではPTA会報の挿絵原画（学校区内の九谷焼に関係する作家さんが描いた約150作品）の提供を受け額装し「わが町のお宝」として展示・活用しました。
- 寺井中学校では、体験学習講座として、梅月庵を演劇や朗読といった授業の場として使用しました。講師には地元で演劇に関わりのある住民の方が教壇に立ち、生徒一人ひとりに熱心に指導を行っていました。



寺井小学校でのコラボ（輝いて生きる、よりよい寺井の未来を伝えよう）



寺井中学校でのコラボ



寺井小学校でのコラボ（PTA会報挿絵原画）

保育園＋てらかつ コラボ	開催日：平成30年度 開催場所：地域交流センター（ふれあいプラザ内）
---------------------	---------------------------------------

- 寺井保育園と豊美保育園の園児を対象に、複合施設「ふれあいプラザ」の地域交流センターで、理科教室を開催しました。教室では、てらかつメンバーが、電池のしくみについて楽しく説明した上で、どのようなものに電池が使われているか、園児みんなで考えました。
- また、工作実験も行っています。豆電球の電子工作で電球を光らせたり、オルゴールの音を鳴らしたりしました。最後には、センター内で電車のおもちゃを走らせて、園児みんなで遊びました。



電池についてのお勉強



豆電球を光らせよう・オルゴールを鳴らそう



電車を走らせて遊ぼう

図書館＋てらかつ コラボ	開催日：平成27年度 開催場所：寺井図書館
---------------------	--------------------------

- 数々のてらかつ協議会のイベントや広場の検討、ミーティング等で使用してきた寺井図書館ですが、てらかつ協議会ともコラボイベントを開催しています。
- 寺井図書館では、寺井小学校とのコラボで借用・額装したPTA会報挿絵原画の展示会を開催しました。
- また、イベントだけでなく日頃利用している図書館に感謝の気持ちを込めて、蔵書点検、本棚清掃のお手伝いもしています。



PTA会報挿絵原画展



蔵書点検お手伝い

その他 コラボ	開催日：平成27年度・29年度 開催場所：寺井地区公民館
----------------	---------------------------------

- てらかつメンバーの活動は、非常に多岐にわたっています。平成27年には石川県や能美市が共催する「能美市まちづくりシンポジウム」にて、てらかつ協議会の活動が取り上げられ、パネルディスカッションにメンバーが登場しました。パネルディスカッションでは、基調講演で「住み開き」についてお話を行ったまちづくり活動家・クリエイターのアサダワタルさんと熱く、寺井のことについて語りました。
- また、能美市が主催の地域の婚活イベントにも共催しています。



能美市まちづくりシンポジウム



婚活イベントのお手伝い

情報発信・情報収集	開催日：平成26年度～ 開催場所：様々
------------------	------------------------

- 様々な活動をこれまで行ってきたてらかつ協議会ですが、イベントやまちづくり活動を外に向けて発信しています。
- おしらせ発信チームでは、年数回、チームメンバーの活動を紹介する広報誌“てらかつニュース”を発行し続けています。てらかつ協議会発足当時から数えて、これまで16回、発行してきました。
- また、公民館報への寄稿も行っています。公民館報は寺井地区約1,500戸へ配布されるもので、年4回寄稿しています。
- その他、ソーシャルネットワーキングサービスであるfacebookを更新しているほか、イベントなどの開催時には、活動を紹介するパネルを作ったり、イベントごとに、地元の新聞やラジオ、ケーブルテレビ等の取材を受けたりしています。



広報誌発行・公民館報寄稿



ラジオの取材



てらかつ facebook ページ

- 情報発信だけではなくありません。周辺地域でのまちづくりに関しての情報収集も行っています。
- これまで、てらかつ協議会では、まちづくり活動事例の視察を合計2回（福井方面、能登方面）行っており、地域の人や文化、まちづくり事例や開発事例に触れ、それを自らの活動に活かしています。
- これら積極的な情報発信、情報収集が功を奏して、今では視察が訪れる立場にもなりつつあり、平成29年度・30年度にそれぞれ1件ずつ、視察の受け入れを行っています（七尾市・越前町）。
- これら、他地域のまちづくり団体との交流を通じ、今までにない刺激を受け、新たなまちづくりの流れが築かれつつあります。



事例視察による情報収集（H26：南越前町・越前町、H27：能登町・穴水町）



事例視察の受け入れ（H29：七尾市、H30：越前町）

5. 活動年表

平成24・25年度

- 3月～8月 ……寺井まちなかの未来を考えるワークショップ（全4回）
- 11月20日 ……寺井図書館前利用活性化ミーティング
- 12月 2日 ……寺井中心街活性化協議会 設立準備会
- 12月～ ……「チームてらかつ」メンバー募集
- 2月27日 ……寺井中心街活性化「てらかつ協議会」発足式
- 2月～ ……「てらかつニュース」創刊号発行（平成30年現在、第16号まで発行）
- 3月13日～ ……「チームてらかつ」活動ミーティング開始（各チーム毎月1回程度開催）

平成26年度

- 4月 ……広報のみ4月号寄稿
- 4月 5日 ……てら散歩
- 5月28日～ ……「チームてらかつ」合同ミーティング開始（毎年1回程度開催）
- 7月～ ……寺井地区公民館報初寄稿（毎年4回寄稿）
- 7月 2日 ……平成26年度「てらかつ委員会」開催
- 7月10日 ……寺井中学校体験学習講座（演劇とダンス）
- 7月～8月 ……「わがまちらしさ」・グランドデザイン（全体計画）検討（全2回）
→てらかつカラーが「べんがら」に決定
- 8月 2・3日 ……あかりプロジェクト
→手作りで「てらかつ灯籠（約200個）」、「てらかつ暖簾」を制作
- 8月 3日 ……てらかつ活動紹介展（寺井町ふるさと夏祭り会場にて）
- 9月～ ……まちづくり応援ストラップ発売開始
- 10月20日～ ……能美東西連絡道路の修景デザイン検討開始（継続中）
→歩道や街路灯をデザイン、歩車分離機能「ボラード」への陶板設置
- 11月29日 ……まちづくり活動事例視察 in 福井（今庄地区・宮崎地区）
- 1月15日 ……寺井小学校PTA会報挿絵額装
→昭和42～62年に九谷焼作家らが描いた約150作品を額装
- 2月 ……抹茶碗創作教室（複数回）
- 3月23日 ……千代尼通り商店街視察（白山市）
- 3月～4月 ……抹茶碗創作展

平成27年度

- 4月 1～12日 ……寺井小学校PTA会報原画展
- 4月 4～ 6日 ……千客万来 ～花と茶の宴～
- 5月18日 ……寺井図書館蔵書点検のお手伝い
- 6月 1～15日 ……能美東西連絡道路の歩道舗装アンケート（5種類）
- 6月 8日 ……平成27年度「てらかつ委員会」開催
- 6月20・21日 ……てらかつ古本市

- 7月 9日 . . . 寺井中学校体験学習講座（朗読）
- 7月11日 . . . まちづくり活動事例視察 in 能登（能登町・穴水町）
- 7月28日 . . . サンロード活性化勉強会で事例発表
- 7月29日～ . . . 寺井図書館広場の整備検討開始（平成29年度終了）
- 8月 1日 . . . 怖いおはなし会
- 8月 2日 . . . てらかつ活動紹介展（寺井町ふるさと夏祭り会場にて）
- 10月 6日 . . . 寺井小学校でてらかつ協議会の活動について授業
- 11月11日～ . . . まちなか回遊ルートの設定検討（平成28年度終了）
- 11月22日 . . . まちづくりシンポジウム&住み開き
- 12月 7日 . . . 寺井高校でてらかつ協議会の活動について意見交換
- 3月12日 . . . てら散歩（寺井高校生を交えて）

平成28年度

- 4月 . . . 陶芸教室（複数回）
- 5月 3～ 5日 . . . 住み開き「ふそろいな仲間達」
- 6月17～22日 . . . 陶芸教室作品展
- 7月 6日 . . . 寺井中学校体験学習講座（朗読）
- 7月24日 . . . まちなか31 辻写生大会
- 8月 9日 . . . 平成28年度「てらかつ委員会」開催
- 8月19～22日 . . . 31 辻絵画展
- 11月18～20日 . . . 住み開き「冬支度」
- 12月14日 . . . 北陸先端科学技術大学院大学の研究協力

平成29年度

- 4月 . . . 「てら散歩マップ」完成
- 5月 3～ 5日 . . . 住み開き「発芽」
- 5月 . . . 親子陶芸教室（複数回）
- 5月24日～ . . . まちなか案内看板の設置検討開始（継続中）
- 6月 1～14日 . . . 親子陶芸教室作品展
- 7月 5日 . . . 寺井中学校体験学習講座（朗読）
- 7月16日 . . . てら散歩（てら散歩マップを用いて）
- 7月17日 . . . 住み開き「新訳：舞姫」
- 8月 6～25日 . . . 能美東西連絡道路（寺井まちなか区間）愛称アンケート
- 8月30日 . . . 平成29年度「てらかつ委員会」開催
- 9月23日 . . . 石川地域づくり協会エリア会議で事例発表
- 9月24日 . . . まちなか31 辻写生大会
- 10月23日 . . . 寺井小学校でてらかつ協議会の活動について授業
- 10月28日 . . . 寺井地区婚活イベントのお手伝い
- 11月 3～ 5日 . . . てらかつフェスタ（住み開き「ふわふわっと。」）
- 11月17～19日 . . . 住み開き「冬支度」

- 12月15日・・・中島地域づくり協議会（七尾市）の視察対応
- 3月13日・・・寺井小学校よりまちづくりに対する意見文と感謝文を受け取る

平成30年度

- 4月7日・・・満天星工房の開校
- 4月26日・・・後半戦キックオフミーティング
- 4月～5月・・・満天星陶芸教室
- 5月3～5日・・・住み開き「ゆるうらら」
- 7月1～8日・・・満天星陶芸教室作品展
- 7月4日・・・寺井中学校体験学習講座（朗読）
- 7月22日・・・まちなか31 辻写生大会（寺井高校美術部）
- 9月1日・・・てらかつトワイライトの集い（寺井図書館広場お披露目）
- 9月2日・・・宮崎地域コミュニティ運営委員会（福井県越前町）の視察対応
- 10月25&30日・・・てらかつわくわくサイエンス（寺井保育園&豊美保育園）
- 11月16～18日・・・住み開き「冬支度」

6. 最後に

平成26年2月の協議会発足以降、「無理をしないで、自分の好きなことを、ちょっとずつ試してみる」というコンセプトのもと、各チームのメンバーを中心に、様々な活動を展開してきました。これまで、地域に当たり前のようであったものが、地域の宝であることに気づき、それを活かしながら出来る事を積み重ねることで、新たな活動や交流が生まれてきました。

寺井地区では、これまでも地域の活性化に向けて、町会をはじめ各団体がそれぞれ様々な活動していましたが、本事業をきっかけに各団体が話し合いを重ね、このてらかつ協議会を継続していくという思いを一致させました。

都市再生整備計画事業としての国からの補助事業は終了を迎えますが、まちづくりはハード整備が完了した時点で終了するものではありません。本事業で整備された施設の利活用と共に、てらかつの活動を寺井地区全体へ波及する取り組みを今後も展開させていきたいと思えます。



